

2014年8月27日 発

報道関係者各位

学校法人東北学院 法人事務局広報部広報課
〒980-8511 宮城県仙台市青葉区土樋1-3-1
電話: 022-264-6423 / E-Mail: koho@tohoku-gakuin.ac.jp

東北×ひょうご神戸×大学生

東北“みらい”フォーラム

テーマ : 「大学生に出来る防災・減災～東日本・阪神淡路の震災から学ぶ～」
東日本・阪神淡路の震災について学び、今後の防災・減災のために、大学生としてどう取り組んでいくかを考える。

日時 : 平成26年8月30日(土) 14時00分～18時00分(予定)

場所 : 東北学院大学 土樋キャンパス 5号館第1会議室

プログラム:

- ご挨拶と基調講演1(14:00～14:35)
テーマ:「学生のボランティア活動について」(仮題)
復興大学災害ボランティアステーション 東北学院大学 副学長 佐々木 俊三 氏
- 贈呈式(14:35～14:40) ※神戸市社会福祉協議会からの感謝状贈呈
- 基調講演2(14:40～15:00)
テーマ:「阪神淡路大震災について」(仮題)
講師: 神戸市社会福祉協議会 広報交流部 部長 土井 敏 氏
- 《休憩(15:00～15:10)》
- ワークショップ(15:10～16:10)
テーマ「東日本・阪神淡路の震災から学ぶ大学生に出来る防災・減災」
総括・まとめ(16:10～16:15)
- ご挨拶(16:15～16:20)
神戸市社会福祉協議会
広報交流部 部長 土井 敏 氏
- 《休憩(16:20～16:30)》
- 交流会(16:30～18:00)※夕食含む
ボランティア活動の情報交換。東北とひょうご神戸の学生による交流会。

※別紙、資料もご参照下さい。

【本件に関するお問い合わせ】

復興大学 災害ボランティアステーション(東北学院大学 其田)
電話 022-264-6424
e-mail sonodam@staff.tohoku-gakuin.ac.jp

東北×ひょうご神戸×大学生 東北“みらい”フォーラム



東北とひょうご神戸。

そして、大学生。

いま、東北の大学生は何を考えているのか。

いま、ひょうご神戸の大学生は何を考えているのか。

同じことを考えているかもしれない。

違うことを考えているかもしれない。

お互いの意見をぶつけよう。

そして、答えを見つけよう。

日本でいちばん、熱くなるろう。

大学生にしか出来ないことがある。

■テーマ：「大学生に出来る防災・減災～東日本・阪神淡路の震災から学ぶ～」

東日本・阪神淡路の震災について学び、今後の防災・減災のために、
大学生としてどう取り組んでいくかを考える。

■日時：平成26年8月30日(土) 14時00分～18時00分(予定)

■場所：東北学院大学 土樋キャンパス 5号館第1会議室

■対象者：大学生・大学院生（一般の方もフォーラムへのご参加は可能です。）

■参加費：無料

■プログラム：

1部：フォーラム（14時00分～16時20分）

・基調講演1：講師 復興大学災害ボランティアステーション
東北学院大学 副学長 佐々木 俊三 氏

・基調講演2：講師 神戸市社会福祉協議会

広報交流部 部長 土井 敏 氏

・ワークショップ：「東日本・阪神淡路の震災から学ぶ大学生に出来る防災・減災」について

2部：交流会（16時30分～18時00分） ※大学生・院生のみのご参加となります。

■共催：復興大学災害ボランティアステーション、大学コンソーシアムひょうご神戸、神戸市社会福祉協議会、
大学間連携災害ボランティアネットワーク

■後援：「防災からまちづくりを考える実行委員会」

※「防災からまちづくりを考える実行委員会」とは

来年平成27年3月14日(土)～18日(水)にかけて宮城県仙台市において、第3回国連防災世界会議が開催されます。第3回国連防災世界会議 仙台開催実行委員会サイトはこちら→ <http://www.bosai-sendai.jp/index.html>
この会議開催にともない、関連事業も開催される予定です。その関連事業の一般公開事業の中で「防災意識を再確認すると共に、復興に向けた取組みや防災活動を全国に発信する」ことをテーマに、平成26年5月30日(金)に「防災からまちづくりを考える」実行委員会が発足いたしました。仙台市、NGO・NPO、大学等で構成された実行委員会のメンバーで第3回国連防災世界会議に協力を行っていくこととなります。

■お問合せ先：東北学院大学学長室 学長室事務課

TEL：022-264-6424 Mail：sonodam@staff.tohoku-gakuin.ac.jp